

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	神戸市												
計画の目標	公園施設の長寿命化計画に基づき、園路広場や便所などの公園施設のバリアフリー化や耐震改修等を図る。 それにより公園施設に係るトータルコストの軽減を図るとともに、誰もが安全で安心して利用できる快適な公園の実現を目指す。 上位計画における位置づけ：「神戸市みどりの基本計画」第7章・施策の展開 2. まちのゾーン 方針2 - 公園の安全性の向上とバリアフリー化												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,031	A	1,941	B	0	C	90	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.43	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	・公園のバリアフリー化率を園路広場50%（H27当初）から園路広場60%（H31末）にする。 （都市公園のバリアフリー化適合率（園路広場）） （バリアフリー基準に適合している公園数） / （神戸市内の公園数） バリアフリー基準適合除外公園を除く	50%	57%	60%
2	・公園のバリアフリー化率を便所43%（H27当初）から便所45%（H31末）にする。 （都市公園のバリアフリー化適合率（便所）） （バリアフリー基準に適合している便所のある公園数） / （神戸市内の便所のある公園数） バリアフリー基準適合除外公園を除く	43%	44%	45%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・神戸市強靱化計画・安全都市づくり推進計画に基づき実施される要素事業：A1												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	公園における園路広場のバリ アフリー化等	神戸市						1,213	-	
	A12-002	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	公園施設長寿命化対策支 援事業	公園施設の改築・更新	神戸市						722	策定済	
	A12-003	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	公園施設長寿命化計画策 定調査	公園施設の長寿命化計画策 定調査	神戸市						6	-	
												小計						1,941	
												合計						1,941	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	小規模公園の防災機能等 向上施設整備	老朽化した施設等の改築・更 新	神戸市						90	-			
		地域の意見を反映し、地域と連携した効果的な中心市街地の再生を推進する。																			
												小計						90			
											合計						90				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和2年度 神戸市建設事業外部評価委員会	令和2年10月19～20日（第1回）、令和3年1月26日（第2回）
	公表の方法 神戸市ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・都市公園の園路及び広場・便所について、継続してバリアフリー化を図った結果、平成18年時点のバリアフリー化率20%弱から大きく向上し、対象公園の半数以上において誰もが安全安心に利用できる環境が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・公園の便所のバリアフリー化に伴い多目的便房を設置することで親子連れでも利用しやすい公園として再整備できた。 ・公園施設のバリアフリー化とあわせて、給水ポイントとなる水飲み台や、日除けとなるあずまや等の整備により、近年頻発する異常高温への対策を取り入れた公園として再整備できた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の整備により、都市公園移動等円滑化基準に定める園路広場のバリアフリー化率60%及びトイレのバリアフリー化率45%の整備を達成した。 ・ただし、神戸市の定める「神戸市都市公園バリアフリー整備方針」における整備目標である、園路のバリアフリー化率68%については未達成のため、平成31年度までの整備計画期間終了後も、再度整備計画を策定し、継続的に公園施設のバリアフリー化の推進に取り組んでいく。 	

案件番号：

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公園のバリアフリー化率を園路広場50%（H27当初）から60%（H31末）にする	
	最終目標値	60%
	最終実績値	60%
2	公園のバリアフリー化率を便所43%（H27当初）から45%（H31末）にする。	
	最終目標値	45%
	最終実績値	53%

○安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）Ⅱ

A 基幹事業

- A-1 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業
- A-2 公園施設長寿命化対策支援事業
- A-3 公園施設長寿命化計画策定調査

十画用途地域図
INTERNATIONAL PORT CITY, KOBE

凡例	
	区界線

